

# 環境と建築物のサステナビリティ

～震災を乗り越える持続可能性を目指して～

2011年3月に発生した東日本大震災以降、私たちの価値観は大きく変化しています。変えなければいけないこと、変えてはいけないこと、今回はこうした環境と建築分野における持続可能性のあり方について、東洋大学・理工学部の2名の先生方に、下記の通りご講演をお願いしています。

また、講演後には、この春に国際産学連携先端教育研究の拠点として新築された「バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターβ棟」や講師関連研究室の見学、最後に参加者全員による交流会・名刺交換会の時間も設けております。

つきましては、環境や建築分野の今後の方向性、また産学連携に関心の高い企業の皆様、関連業界の皆様へ、ビジネスの一助となりますようご案内申し上げます。

## ◆ 講演

### ◇ 「河川整備の取組と環境面で配慮したいこと」

講師 青木 宗之 氏（東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科 講師）

概要：東日本大震災以降、インフラの耐震化整備が進められてきています。また、近年では地球温暖化による気候変動の影響で、降雨量が増加し洪水が多発してきています。そこで、河川堤防の耐震化や洪水対策に関する取組と、その際に環境面で配慮すべき内容を紹介します。

### ◇ 「社会の中の技術、地域の中の専門家－関東大震災の復興小学校の保存運動の事例から」

講師 日色 真帆 氏（東洋大学 理工学部 建築学科 教授）

概要：関東大震災の復興事業として、すべて鉄筋コンクリート造で短期間のうちに117校建てられた復興小学校は80年以上を経た現在では数少なくなっている。その1校であった東京都中央区の明石小学校について、リノベーション（保存再生）して使い続けることを求めた運動に関わった経験から、社会の中での技術、地域社会の中での建築専門家のあり方について話題を提供してみたい。

## ◆ 見学会

◇ バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター・β棟（平成25年3月竣工）

◇ 河川・環境研究室（都市環境デザイン学科）

## ◆ 交流会 参加者全員による立食形式の懇親会（大学研究者との交流を含む）

日 時：平成25年8月1日（木）14:00～18:00

会 場：東洋大学・川越キャンパス（埼玉県川越市鯨井2100）

参加費：無料（交流会を含む）

募集締切：平成25年7月29日（月）

主催：東洋大学 工業技術研究所／りそな中小企業振興財団／埼玉りそな産業経済振興財団

後援：りそな銀行／埼玉りそな銀行

## 開催要領

1. 日時 平成25年8月1日(木) 14:00~18:00 (受付開始13:30)
2. 会場 東洋大学(川越キャンパス) 集合場所 4号館2階 421教室 (会場案内参照)
3. 主な次第
- (1). 開会 14:00 主催者挨拶・日程等説明
- (2). 講演会 14:10~15:50
- ① テーマ 『河川整備の取組と環境面で配慮したいこと』(仮) 14:10~14:55  
講師 青木 宗之 氏(東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科 講師)  
----- 休憩 -----
- ② テーマ 『社会の中の技術、地域の中の専門家-関東大震災の復興小学校の保存運動の事例から』  
15:05~15:50  
講師 日色 真帆 氏(東洋大学 理工学部 建築学科 教授)
- (3). 見学会 15:50~16:50 研究施設見学
- (4). 交流会 17:00~18:00 講師・大学教員の方々と交えた参加者全員の交流会(立食形式)
4. 募集対象 中小企業製造業の経営者および技術担当者の方を優先します。
5. 定員 50名程度
6. 募集締切 平成25年7月29日(月) (但し締切日以前でも定員になり次第締切といたします。)
7. 参加費 無料(交流会含む)
8. 申込方法 参加申込書をE-mail ([staff@resona-fdn.or.jp](mailto:staff@resona-fdn.or.jp)) 又はFAX (03-3444-9546) でお送り下さい。

## 講師ご紹介

(講演順)

◆青木 宗之 (あおき むねゆき) 氏 東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科 講師 (博士(工学))

(略歴) 2010 東洋大学大学院 工学研究科 環境・デザイン専攻 博士後期課程修了  
2010 パシフィックコンサルタンツ株式会社(河川部にて河川計画に従事)(~2013.3)  
2011 東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科 非常勤講師(~2010.9)  
2013 東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科 講師  
現在に至る  
(専門分野) 水理学、河川工学、河川環境水工学

◆日色 真帆 (ひいろ まほ) 氏 東洋大学 理工学部 建築学科 教授 (博士(工学)、一級建築士)

(略歴) 1984 東京大学 工学部 建築学科卒業  
1986-1998 設計組織シーラカンス共同主宰  
1991 東京大学大学院博士課程修了  
神戸芸術工科大学助手  
1998-現在 タラオ・ヒロ・アーキテクト共同主宰(所在地:東京都中央区明石町)  
1995 愛知淑徳大学専任講師  
1997 同 助教授  
2002 同 教授  
2013-現在 東洋大学理工学部建築学科 教授  
現在に至る  
(専門分野) 建築設計、建築計画

# 参加申込書 (東洋大学 8月1日開催)

本申込書を E-mail (staff@resona-fdn.or.jp 添付文書)

または FAX (FAX 03-3444-9546) でお送りください。

※太枠内の項目は、有意義な交流ができますよう、参加者名簿に適宜記載しご出席の皆様にお配りします。

※個人情報については、主催者が開催する各種事業のご案内以外には利用致しません。

公益財団法人 りそな中小企業振興財団 行

(7月29日必着)

(フリガナ)			
会社名			
参加者	所属/役職	氏名	
参加者 連絡先	所在地 〒      —	(支社・工場名等)	
	TEL	FAX	
	e-mail		
URL	http://		
事業内容			
所属企業	代表取締役	従業員数 / 人	資本金 / 万円
本社住所	所在地 〒      —		
	代表 TEL	FAX	
大学と連携 を希望する 内容 (該当にレ)	<input type="checkbox"/> 技術相談をしたい <input type="checkbox"/> 技術指導を受けたい <input type="checkbox"/> 共同研究を希望する <input type="checkbox"/> 大学シーズを実用化したい <input type="checkbox"/> その他(具体的に _____ )		
今回関心がある テーマ (該当にレ)	<input type="checkbox"/> 青木先生「河川整備の取組と環境面で配慮したいこと」 <input type="checkbox"/> 日色先生「社会の中の技術、地域の中の専門家 —関東大震災の復興小学校の保存運動の事例から」		
今後聴講し たいテーマ、 経営課題、 交流したい 相手等			

※本書式 (Word) は財団ホームページ ( <http://www.resona-fdn.or.jp> ) からダウンロードできます。

※本ご案内はりそなグループの事業をご利用の皆様、イベント等でご挨拶・名刺交換させていただいた皆様にお送りしております。

# 会場案内

《大学連絡先》

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100

東洋大学（川越キャンパス）工業技術研究所

TEL 049-239-1322 FAX 049-232-0981



東洋大学川越キャンパス  
マスコットキャラクター  
こもれビー

## 【アクセス】

### ■東武東上線「鶴ヶ島駅」

東口から徒歩10分（新西門まで）

※駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。

## 【連絡・問合せ先】

公益財団法人 リそな中小企業振興財団 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-2-1 目黒センタービル4F

TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546

<http://www.resona-fdn.or.jp> <mailto:staff@resona-fdn.or.jp>